

令和4年度 三和地域協議会事業報告

三和地域協議会は平成27年度の設立以来8年目を迎え、「住みたくなる魅力あるまち」をめざし、「三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称：みわひまわりライド）」と「三和地域暮らしサポート事業（愛称：みわひまわりサポート）」を中心にさまざまな地域課題の解決の為に活動を続けてきました。

感染拡大から3年を経過する新型コロナウイルス感染症に関する規制も緩やかになり、三和町で最大のイベントである“三和ふれあいフェスティバル”は規模を縮小しながらも開催することができ、親子を対象に開催している“こどもウォークラリー”も2年つづけて開催し、少しずつではありますがコロナ禍でも元気を生み出すような取り組みを行うことができたと考えております。

三和診療所の再開については、令和4年度は福知山市に対して早急に再開されるよう要望活動を実施し、令和5年4月からは毎週木曜日の午後に診察が開始されることになりました。

協議会の取り組みの柱でもある公共交通空白地有償運送事業においては、徐々にではありますが利用者もコロナ前に戻ろうとしています。令和4年度は高齢により運転免許証を返納される方や、夫婦で会員登録される方も増加しており、市に対して敬老乗車券の本事業への活用についても自治会長会とともに要望しました。

また、2年目となる暮らしサポート事業については、「ちょっとした困りごとのお手伝い」として活動が徐々に広まり、今後更に事業の周知や会員・協力会員の増加に繋げていきます。

令和4年度から市直営で運営されている、地域の交流拠点である「三和荘」については、令和6年4月のリニューアルオープン以降真の三和地域の交流拠点となるよう、新たに「三和荘活用推進協議会」を発足し、広く地域住民の意見が反映されるよう不定期ではありますが、会議を開催しているところです。

このほか、地域自治や地域福祉を守る活動において、定住促進や子育て環境の充実につとめ、また応急手当講習などに取り組みました。こうした身近な問題についても自治会長会をはじめ地域内外の諸団体、個人のご理解ご協力により、着実にその歩みを進めることができたと考えております。

また、令和4年度は福知山市監査委員会による「福知山市財政援助団体監査」を受け、指導いただいた内容については改善を図り、引き続き福知山市の財政援助により本会の運営を継続していくこととなりました。

以下、それぞれの事業について報告します。

1、協議会全体事業について

(1) 三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称「みわひまわりライド」）

本年度末時点で「みわひまわりライド」の会員数は177人となり、年度内に21人増加しました。主に日常の買い物や医療受診、地域公民館施設での行事参加のほか市役所支所やJA窓口での用事への移動手段として地域に暮らす高齢者世帯の生活基盤を支える公共交通として月平均68人の利用があり、前年度に比べて約2割増加しました。

また、利用者の負担軽減と利用拡大を図るため、「敬老乗車券」の自家用有償運送への適用について、10月に自治会長会から市長宛に制度の拡充を求める要望書を提出していただきました。本年8月から新しい制度での「共通乗車券」として利用できることになりました。

なお、平成30年4月から運行区域を拡大してきた「PLANT（プラント）-3買い物便」は、食料品や日常雑貨等の買い物が町内のスーパーやホームセンターで完結できる環境になってきたことに伴い、昨年8月（市及び国への事務協議上は本年2月）をもって運行を終了しました。

運行区域 「三和町内便」及び「PLANT（プラント）-3買い物便」
利用料金 400（800）円／人・回 ※（ ）内は買い物便
※相乗り割引き・・・一定の要件を満たす2人以上の「相乗り」について、1人1便当り100円の割引券を配付し4枚単位で利用可
運転者数 17人
会員登録数 177人（うち、既利用者133人）
利用者数 延べ825人（平成29年10月からの累計 延べ3,953人）

(2) 三和地域暮らしサポート事業（愛称「みわひまわりサポート」）

三和地域の人たちが、日常生活でちょっとした困りごとがあるときに、既存の制度（介護保険等）ではカバーできない分野を、住民の助け合いや支え合いの仕組みによって援助し、地域で暮らし続けていくことができる活動として開始し、令和4年度で2年目を迎えました。

前年度は会員と協力会員（「サポーター」）の募集からのスタートだったため、実質本年度からが本格的始動となり、利用会員は35名・サポーターは33名に増加しました。依頼内容も草刈り・草引きのほか、ゴミの集積場までの持ち込みや火災警報器の電池交換など幅広い依頼が増え、令和4年度は利用会員14人からの51件の依頼に対応しました。今後会員の募集と併せて、協力会員登録を強めていきたいところです。

また、3月にはサポーター会議を開催し、課題や今後の活動について話し合いを行うことができ、次年度以降の活動に役立てていきます。

(3) 福知山公立大学連携事業

福知山公立大学がすすめる「地域密着型授業」として、令和4年度は亀井教授・張准教授クラスの1回生16人が、三和地域をフィールドに地域経営演習を実施しました。

新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、前期授業からすべて対面方式で実施し、実際に地域を訪れての授業を前後期合わせて7回実施しました。新しい農業の取り組みや民宿経営、企業経営、生活交通のほか、新たに地域スポーツ振興も題材に学習を深めることができました。また、三和学園との交流も2年ぶりに復活し、9年生と懇談するなど交流を深めました。

三和地域での取り組みは、大学と地域との連携モデルとして、引き続き高い評価をいただいています。

(4) 空き家対策・定住促進事業

前年度に引き続き、移住希望者への空き家の案内、内覧時の立会い、空き家調査、三和地域の空き家情報バンク登録のお手伝い、また上川合のおためし住宅への入居希望者のオンライン面談での地域紹介など、市の担当者と連携し活動にあたりました。

コロナ禍での空き家の内覧も制限されていた昨年度に比べ、今年は空き家の内

覧や問い合わせ、移住相談も増えました。

令和4年度の2月末現在の福知山市の空き家情報バンクへの物件登録数は、55件（内、三和町の物件登録件数は17件）、市全体の成約件数は28件（内、三和町の成約件数は3件）でした。

また、今年は2年ぶりに5回目の移住者交流会を三和学園で開催し、35名の参加でスパイスカレー・ガルミーさんのカレーを食べながら、農業や子育ての話などで大変盛り上がりました。

8月には、福知山市若者まちづくり未来ラボ事業・移住者発掘プロジェクトの一環として、三和の移住者支援についてのフィールドワークを行い、福知山公立大学と、京都府立工業高校の生徒さんに、三和地域の移住者の暮らしのようすや、移住サポートについてお話させていただき、9月には大江まちづくり住民協議会と移住支援について意見交換会を行いました。

3月には、おためし住宅へ現在入居されている方、移住者交流会に参加できなかった方などを対象に「農家民泊さかや」でプチ座談会を開催し、移住者同士のネットワークをつなげるお手伝いをしました。

2、常任委員会について

協議会全体の方針や事業の進め方を協議するため、概ね月1回、定期的に行いました。構成は会長、副会長、部会長、副部会長、常任委員、事務局の14人です。

○ 令和4年度 10回開催

3、部会活動について

(1) 地域活力部会

令和4年度は、前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響は受けましたが、令和3年度から始めたウォークラリーやゆずります会を引き続き開催し、活動を行うことができました。

○ みわこどもまつり Presents こどもウォークラリー

今年度も「みわこどもまつり」の代替イベントとして、5月29日にウォークラリーを実施し、15組56人の参加がありました。農業振興センターから井ノ奥公園を回るルートに、さまざまな体験のチェックポイントを設けました。

今回も天候に恵まれ、前回のリピーターの方もおられるなど、ご参加くださった皆さん・スタッフとも、屋外でのイベントを楽しみました。

○ みわふれあいカフェ

みわふれあいカフェは、地域住民が気軽に集い、のんびりお喋りしながら交流を深める場所づくりをめざして、令和4年度も4月～11月まで計31回開催しました。令和3年度から開始した「うちのモノ ゆずります♪会」も、初回から同時開催し、のべ約470人のご利用がありました。また、毎月第1金曜は珈琲工房カリビアンさんのオリジナルコーヒーを提供しました。

令和4年度は出張カフェとして、市立図書館三和分館とのコラボ開催を三和会館前で行い、図書館に来られたことがない方や、ふれあいカフェが初めての方もおられ、好評でした。

○ 学用品ゆずります会

令和3年度に開催した、卒園・卒業したお子さんの学用品を新入園・新入学・在学中のお子さんにお渡しする「学用品 ゆずります♪会」を令和5年3月と4月に開催しました。今回は三和こども園のご協力もあり、こども園のスモックや体操服などがたくさん集まりました。残った品物に関してはホームページで情報を公開し、随時引き取り・受け渡しを行っていく予定です。

○ 三和音頭の普及

三和音頭の普及活動は、今年度もコロナ禍が続き開催できませんでした。

○ みわ子育て講演会

「みわを子育てしやすいまちに」するための活動の一環としての講演会は、コロナ禍が続きできませんでした。

○ 京都FM丹波放送「みわを元気に」放送

平成29年度から放送を開始した「みわを元気に」のコーナーは、令和4年度も隔月で計6回の放送を行いました。福知山高校三和分校や三和出身の高校生、三和の音楽グループのミニコーン、コアマシナリー株式会社、移住就農者の女性をゲストに招きお話を伺いました。広報紙に掲載しているQRコードからアクセスすれば、いつでも聴けるようになっています。

○ 劇団風の子関西30周年記念公演「風の少年シナド」共催

令和4年度で30周年を迎えられた劇団風の子関西さんより、三和で公演をしたいとのお話があり、共催として申し込みを受け付け、菟原児童館さんとともに公演の広報や当日受付などのお手伝いをしました。当日は約100人のご来場があり、生の演劇を楽しみました。

(2) 生活基盤部会

生活基盤部会は、過疎化が進む中、「だれもが住み続けられる三和」を目指して、住民の暮らしを支えるための手立てを考えてきました。現在、三和地域公共交通空白地有償運送事業と、三和地域暮らしサポート事業に取り組んでいますが、事業の充実・継続に向けて様々な課題も抱えています。

有償運送事業は、平成29年10月の運行開始から5年半になります。

車の免許を持たない高齢者の外出支援などが目的で、市役所三和支所や歯科への通院、買い物などでの利用が目立ちます。また、暮らしサポート事業は開始から2年になり、暮らし面でのちょっとした支え合いの推進を目指しています。家の周りの草引きや草刈り、家庭用のごみ出しなどの依頼が主になっています。

これら事業に対する住民の期待は、高齢化の進行で、今後さらに膨らむことが予想されます。それに支える事業の継続には、サポーターの確保、増員が欠かせません。有償運送を支える運転者は現在、登録17人、暮らしを手助けする住民サポーターの登録は33人です。支える方も高齢化していて、ギリギリのところでは何とか対応しているのが現状です。

事業を担うマンパワーの充実と併せ、有償運送の利用料金の軽減化や、暮らしサポート事業が担う作業の範囲など、今後とも課題の整理に努めますので、ご協力をお願いします。

(3) 交流・連携部会

福知山公立大学との連携事業である「CoCo ショット～みわふるさと写真コンテスト～」については、福知山公立大学との連携事業の関連で学生からの提案を受けて令和3年度に開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となり令和4年度に開催しました。

募集期間を延長したことで、前年度の作品と合わせて15点の応募があり、審査の結果、金賞1点・銀賞3点を選考し、11月に開催された三和ふれあいフェスティバルの中で、全作品の展示と入賞者の表彰式を実施しました。なお、副賞の表彰メダルについては、三和町芦洲にあるコアマシナリー株式会社にオリジナルメダルとして作成していただきました。入賞作品については、今後三和地域のPR活動等に活用していきます。

また、本年度から新たに開始した取り組みが、応急手当講習です。119番通報から救急車が現場に到着するまでの全国平均所要時間が9分と言われていますが、三和町ではそれ以上の時間を要します。そうした中、救える命を居合わせた人が救うための応急処置方法を習得する講習で、福知山市消防本部と連携して開始したもので、初年度は19名の受講をいただきました。この活動は今後も継続して実施していきます。

4、地域住民活動支援事業

(1) 三和診療所再開に向けての住民要望について

三和診療所は令和2年8月から施設の電気設備の不備から休診が続き、これまで診療所を利用していただいていた人や急診で施設を利用しようとしている住民にとっては不便や不安な日々が続いていました。

令和4年度に三和町自治会長会と連携し、令和5年1月19日に施設管理者である福知山市に対して、診療業務を受託している松本病院に早期の診療再開を働きかけるよう要望書を提出しました。

その結果、3月の自治会長会において福知山市より、4月から毎週木曜日の午後診療が再開されるとの報告がありました。

(2) 三和地域福祉推進協議会事業について

三和地域福祉推進協議会は、自治会長会や民生児童委員を中心に住民や各団体が連携して地域福祉の推進・連携を図るため、お互いに支えあう地域社会を目指して活動してきました。

本年度は8月に自治会長と民生児童委員による「避難行動時要支援者の対応についての合同研修」と併せて要支援の届け出をされている世帯の訪問と避難に関するアンケートを実施しました。

また、3月にはコロナ禍により令和元年度から延期してきた真鍋歯科医院の眞鍋憲さんによる「歯科における予防について」と題した地域福祉講演会を実施することができました。

他に、福知山市社会福祉協議会三和支所及び三和地域包括支援センターとの連携により実施している「認知症を知る講座」についても昨年度に引き続き、案内チラシを全戸配布し、サロン等の少人数での受講を募る取組みや民生児童委員を中心に実施している「飛出し看板」の作成も継続して実施しました。

(3) 旧細見小学校活動推進委員会について

旧細見小学校活用事業については、株式会社リボーンズ北近畿が令和3年10月1日から令和13年9月30日までの期間、福知山市と土地及び不動産の賃貸借契約を結び、令和4年秋のオープン予定で施設の改修に着手していましたが、会社都合により契約が解除されたため、活用事業が白紙となりました。

今後については、新たな年度において委員会体制の見直しから取り組むこととなります。

5、市役所三和支所委任事業について

(1) 三和ふれあいフェスティバルの開催

三和地域で開催される大きなイベントの一つである「三和ふれあいフェスティバル」の事務局を引き続き担っており、令和4年度は飲食の屋台を中止するなど制限はありましたが、3年振りにフェスティバルを開催することができました。

(2) 三和町自治会長会事務局

三和地域の自治会長の連合組織である三和町自治会長会の独自活動について、事務局として連絡調整等の事務を実施しました。また、自治会長に対する月2回の刊行物等の配布や、各自治会独自の文書作成の支援等も実施しました。

(3) 無線放送録音受任

三和地域全域をカバーする重要な情報伝達手段である「無線放送」について、そのアナウンス録音を担当し、年間を通して各家庭に情報を届けることを行いました。

6、広報紙「みわを元気に」発行、その他の情報発信

地域協議会の活動を知っていただくとともに、三和地域における様々な住民活動を紹介するため、広報紙「みわを元気に」を隔月で6回発行しました。

また、ホームページやフェイスブック等を活用し、それぞれの媒体に応じた方法で地域協議会の活動を発信しました。

7、事業経過(日誌)

令和4年

- | | |
|-------|--|
| 4月1日 | 地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」再開
毎週金曜日開設(12~3月冬休み)、「ゆずります会」併催 |
| 4月7日 | 自治会文書配布 |
| 4月14日 | 地域活力部会打合せ
菟原児童館、風の子関西と公演について |
| 4月20日 | 自治会文書配布
FM丹波「みわを元気に」
三和地域協議会の今年度の活動について |
| 4月21日 | 第1回三和町自治会長会 |
| 5月11日 | 地域活力部会打合せ
ウォークラリーについて
第1回常任委員会 |

- 総会について、みわひまわりライドについて、みわひまわりサポートについて、移住情報について、各部会の計画・課題について
- 5月12日 自治会文書配布
- 5月19日 自治会文書配布
広報紙「みわを元気に」第43号発行
- 5月29日 「みわこどもまつり Presents こどもウォークラリー」開催
- 6月2日 自治会文書配布
- 6月11日 移住者交流会
三和学園ランチルームにて
- 6月15日 第2回常任委員会
三和診療所の問題について、救命講習の実施にむけて、各部会の活動について
- 6月16日 第2回三和町自治会長会
- 7月7日 自治会文書配布
- 7月13日 第3回常任委員会
移住者交流会について、みわひまわりライドについて、みわひまわりサポートについて、各部会の活動について
- 7月21日 自治会文書配布
広報紙「みわを元気に」第44号発行
- 7月26日 地域活力部会打合せ
風の子関西公演について
- 7月27日 FM丹波「みわを元気に」放送（7月13日収録）
福知山高校三和分校について（農業科・佐々木奨さん、八島佑太さん、藤澤満先生、家政科・片山若菜さん、池田敬子先生のお話）
- 8月18日 自治会文書配布
- 8月19日 第4回常任委員会
みわひまわりライドについて、移住促進事業について、救命講習活動について、各部会の活動について
- 8月22日 福知山市若者まちづくり未来ラボ事業・移住者発掘プロジェクト
移住者支援についてのフィールドワーク
- 8月31日 FM丹波「みわを元気に」
放送部の活動や小中学校のころについて（綾部高校・長澤一花さんのお話）
- 9月1日 自治会文書配布
- 9月15日 第2回三和町自治会長会
- 9月16日 第5回常任委員会
副市長との懇談会について、みわひまわりライドについて、みわひまわりサポートについて、フォトコンテストについて、劇団風の子公演について、各部会の活動について
- 10月5日 朝来地域自治協議会視察受け入れ
みわひまわりライドについて
CoCo ショット～三和ふるさと写真フォトコンテスト～審査会
- 10月6日 自治会文書配布

- 広報紙「みわを元気に」第45号発行
- 10月14日 出張ふれあいカフェ
市立図書館三和分館にてコラボ開催
- 10月17日 第6回常任委員会
みわひまわりライドについて、出張ふれあいカフェについて、フォトコンテストについて、副市長との懇談会について、各部会の活動について
- 10月19日 自治会文書配布
- 10月21日 FM丹波「みわを元気に」放送（10月12日収録）
結成の経緯やバンド活動について（ミニコーン・細見宣哲さん、板谷博さんのお話）
- 10月30日 劇団風の子関西30周年記念公演「風の少年シナド」共催
- 11月4日 自治会文書配布
- 11月12日 三和ふれあいフェスティバル開催（午後：展示部門）
- 11月13日 三和ふれあいフェスティバル開催
CoCo ショット～三和ふるさと写真フォトコンテスト～表彰式
- 11月16日 第7回常任委員会
みわひまわりライドについて、三和ふれあいフェスティバルについて、移住促進事業活動について、副市長との懇談会について、三和診療所について、応急手当講習について、各部会の活動について
- 11月17日 自治会文書配布
- 12月1日 自治会文書配布
- 12月15日 第5回三和町自治会長会
広報紙「みわを元気に」第46号発行
- 12月28日 FM丹波「みわを元気に」
会社でのコミュニケーション、商品づくりについて（コアマシナリー株式会社・岡本真樹さんのお話）

令和5年

- 1月12日 自治会文書配布
広報紙「みわを元気に」第47号発行
- 1月19日 自治会長会と共に三和診療所の早期診療再開を求める要望書提出
- 1月24日 地域活力部会打合せ
来年度の活動について
- 2月2日 自治会文書配布
- 2月14日 福知山市財政援助団体等監査
- 2月16日 自治会文書配布
- 2月20日 第8回常任委員会
みわひまわりライドについて、みわひまわりサポートについて、三和診療所について、三市連携互近助サミットについて、応急手当講習について、総会について、福知山市財政援助団体等監査の実施について、各部会の活動について

- 2月21日 地域活力部会打合せ
学用品ゆずります♪会と来年度の活動について
- 2月24日 FM丹波「みわを元気に」
移住のきっかけ、三和町での暮らしについて（農家・芦田泰子さん、森口あおいさんのお話）
- 3月2日 自治会文書配布
- 3月5日 「学用品ゆずります♪会」開催
- 3月14日 移住者プチ座談会
第9回常任委員会
総会について
- 3月16日 第5回三和町自治会長会
広報紙「みわを元気に」第48号発行
- 4月2日 「学用品ゆずります♪会」開催
みわふれあいカフェも同時開催
- 4月4日 第10回常任委員会
- 4月6日 会計監査
- 4月15日 第10回総会